




KITOKU SHINRYO

お米と。あなたと。
 **木徳神糧**
証券コード：2700

2017年12月期第2四半期

決算説明資料

 **木徳神糧**株式会社
2017年8月30日



KITOKU SHINRYO

お米と。あなたと。

 **木徳神糧**

証券コード：2700

2017年12月期第2四半期 連結業績の概況



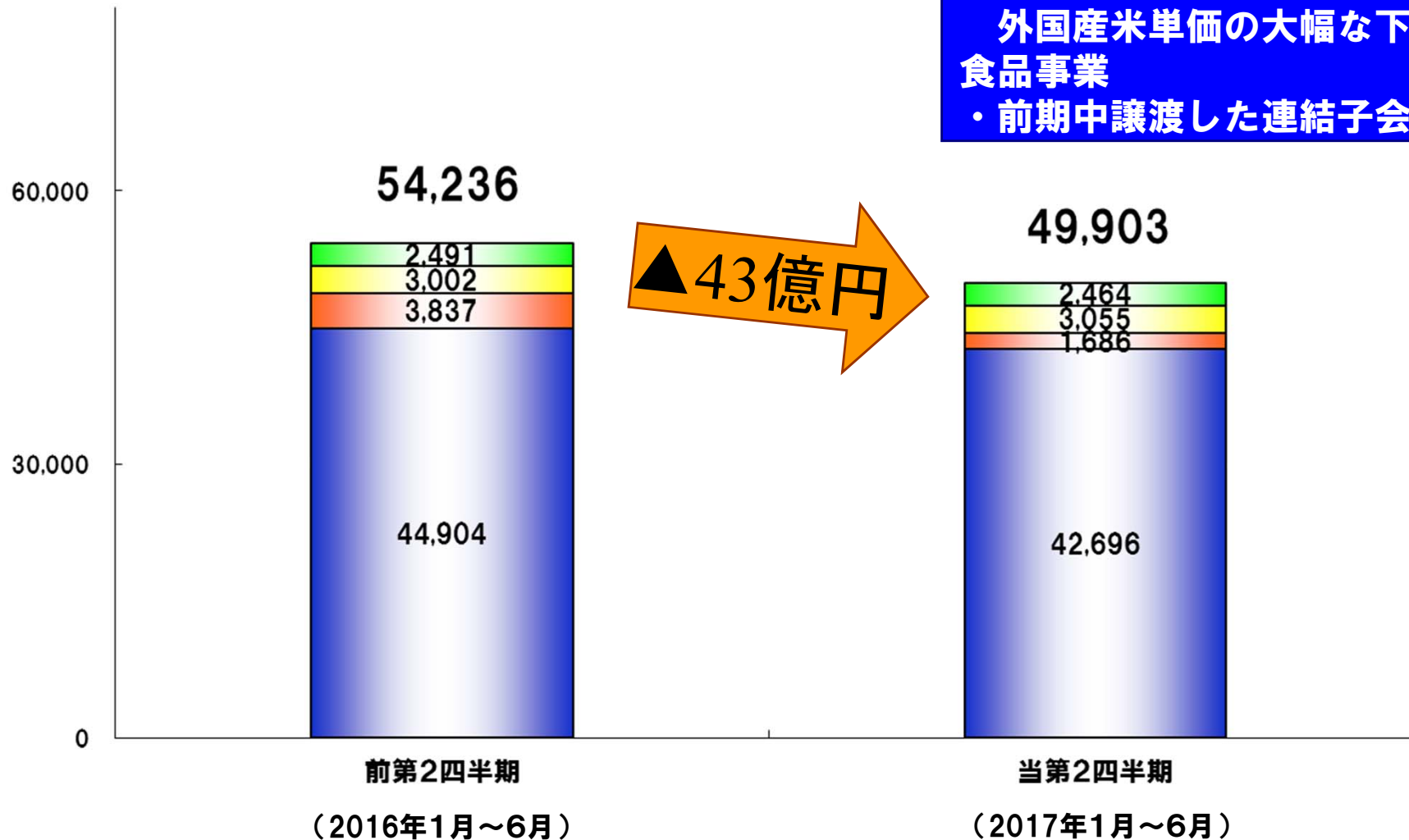
減収・営業減益・最終増益

単位：百万円

	前第2四半期 (2016年1月～6月)	当第2四半期 (2017年1月～6月)	増減額	前年同期比
売上高	54,236	49,903	▲4,333	92.0%
売上総利益	3,680	2,949	▲731	80.1%
売上比	6.8%	5.9%		
販売管理費	2,953	2,669	▲284	90.4%
売上比	5.4%	5.3%		
営業利益	726	279	▲447	38.4%
売上比	1.3%	0.6%		
経常利益	759	330	▲429	43.5%
売上比	1.4%	0.7%		
特別損益	39	406	+367	1041.0%
売上比	0.1%	0.8%		
親会社株主に帰属する 四半期純利益	591	639	+48	108.1%
売上比	1.1%	1.3%		

単位：百万円

■ 米穀事業
 ■ 食品事業
 ■ 飼料事業
 ■ 鶏卵事業



米穀事業

- ・ 販売数量（外国産を含む）の減少
- ・ 国内産米単価の上昇
外国産米単価の大幅な下落

食品事業

- ・ 前期中譲渡した連結子会社分の差異



コメの相対取引価格の推移

KITOKU SHINRYO

お米と。あなたと。

木徳神糧

証券コード：2700

単位：円/60キロ



**平成28年産米は
前年比+1,138円/60キロ上昇**
(9月～翌年7月の同期間単純平均)

**28年産
平均14,368円**

**27年産
平均13,230円**

- 注：1. 価格には、運賃、包装代、消費税相当額が含まれている。
- 2. 相対取引価格は全銘柄平均価格であり、産地銘柄ごとの前年産検査数量ウェイトで加重平均した価格である。
- 3. 25年4月から消費税3%アップで8%となっている。

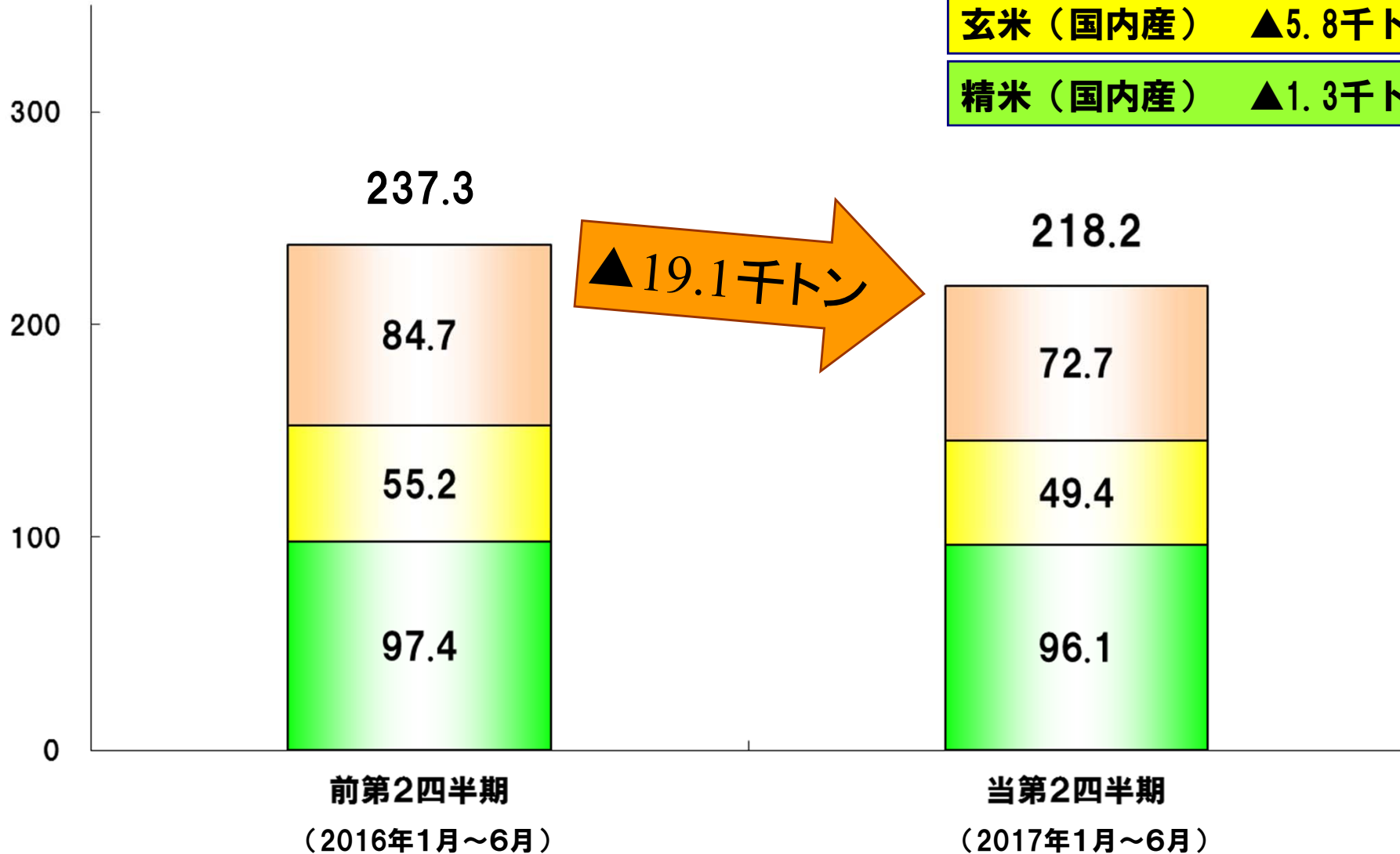


販売数量（米穀事業）

単位：千トン

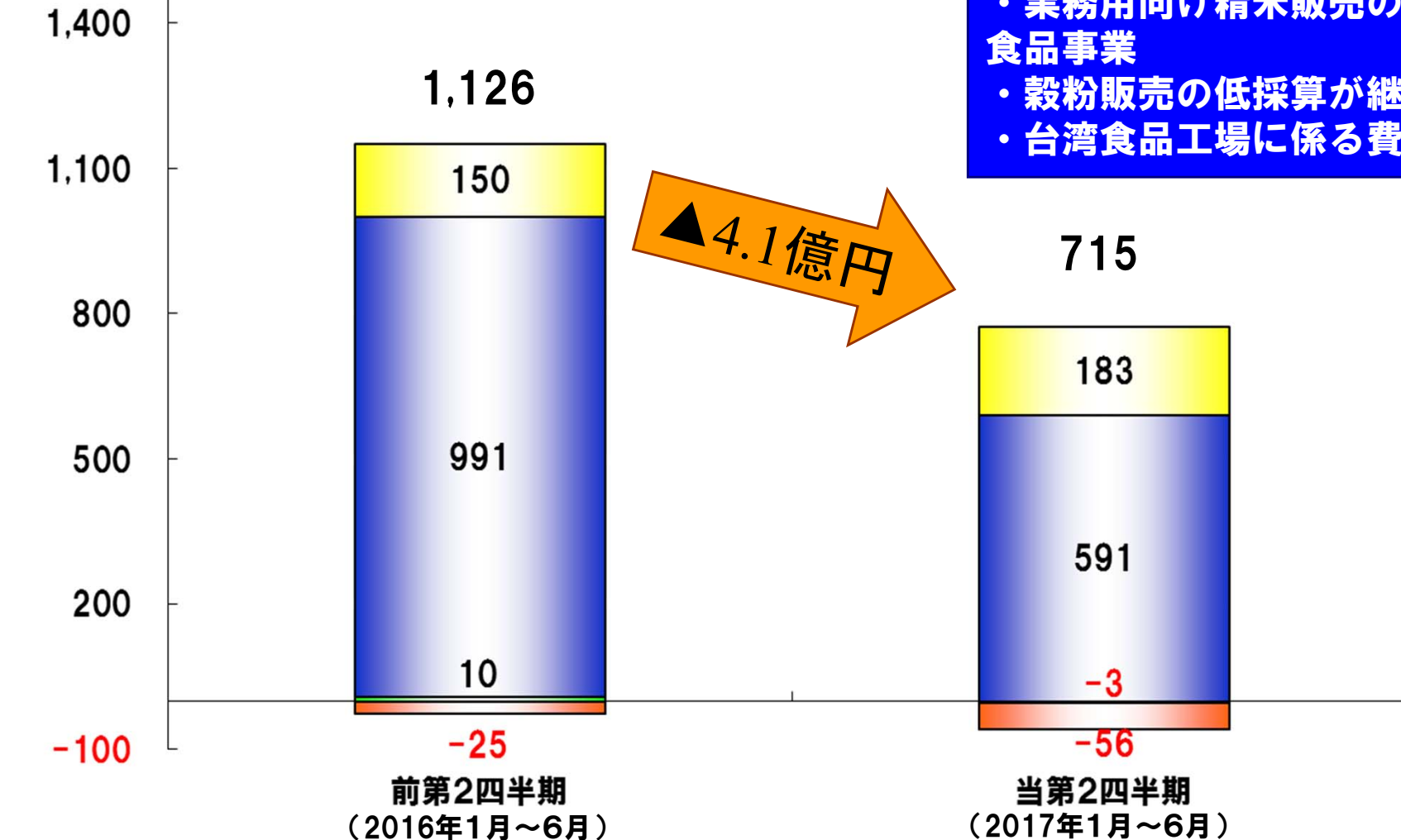
□ 精米(国産) □ 玄米(国産) □ 精米(外国産)

精米（外国産）	▲12.0千トン
玄米（国内産）	▲5.8千トン
精米（国内産）	▲1.3千トン



単位：百万円

■ 鶏卵事業
 ■ 食品事業
 ■ 米穀事業
 ■ 飼料事業



米穀事業

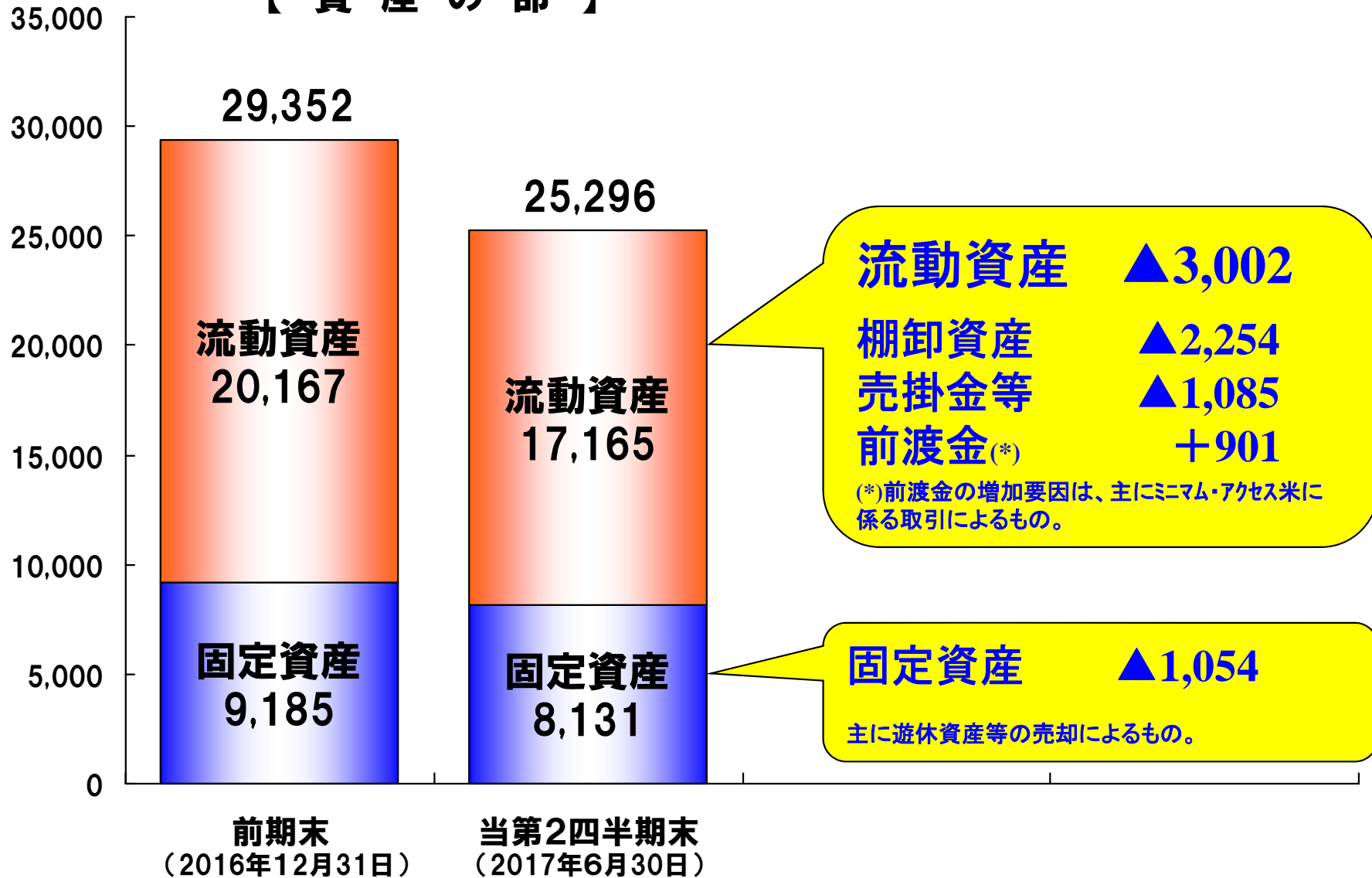
- ・ 国内産米仕入価格の大幅な上昇
- ・ 業務用向け精米販売の採算悪化

食品事業

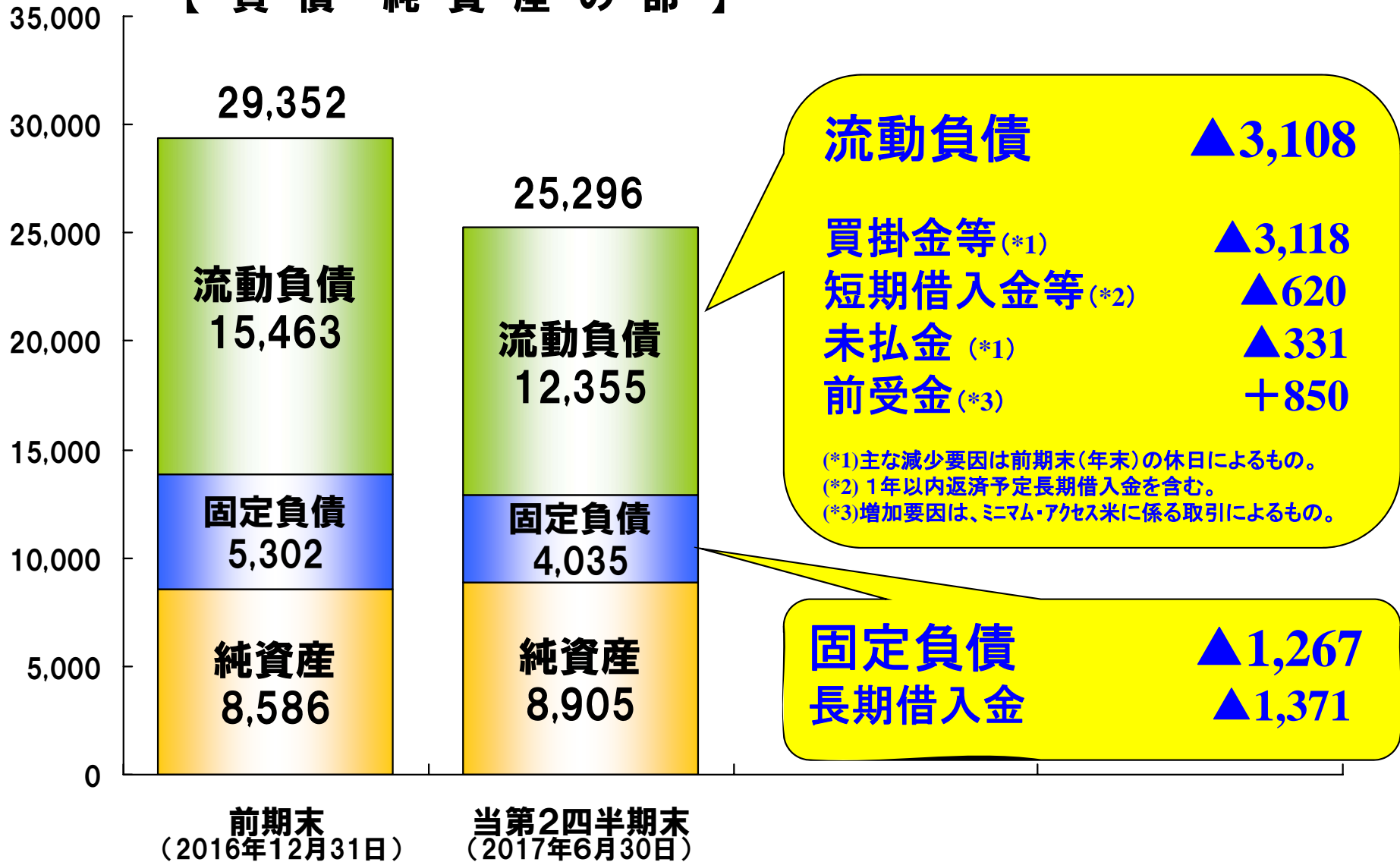
- ・ 穀粉販売の低採算が継続
- ・ 台湾食品工場に係る費用の増加

単位：百万円

【 資 産 の 部 】



単位：百万円 【 負債・純資産の部 】





決算ハイライト (B/S)

お米と。あなたと。

 木徳神糧

証券コード：2700

	前期末 (2016年12月31日)	当第2四半期末 (2017年6月30日)	増減額
総資産 (百万円)	29,352	25,296	▲4,056
純資産 (百万円)	8,586	8,905	+319
自己資本比率 (%)	28.8	34.8	+6.0
1株当たり 純資産 (円)	998.29	1089.30	+91.01

(参考)自己資本:2016年12月末 8,465百万円、2017年6月末 8,808百万円。



決算ハイライト (C/F)

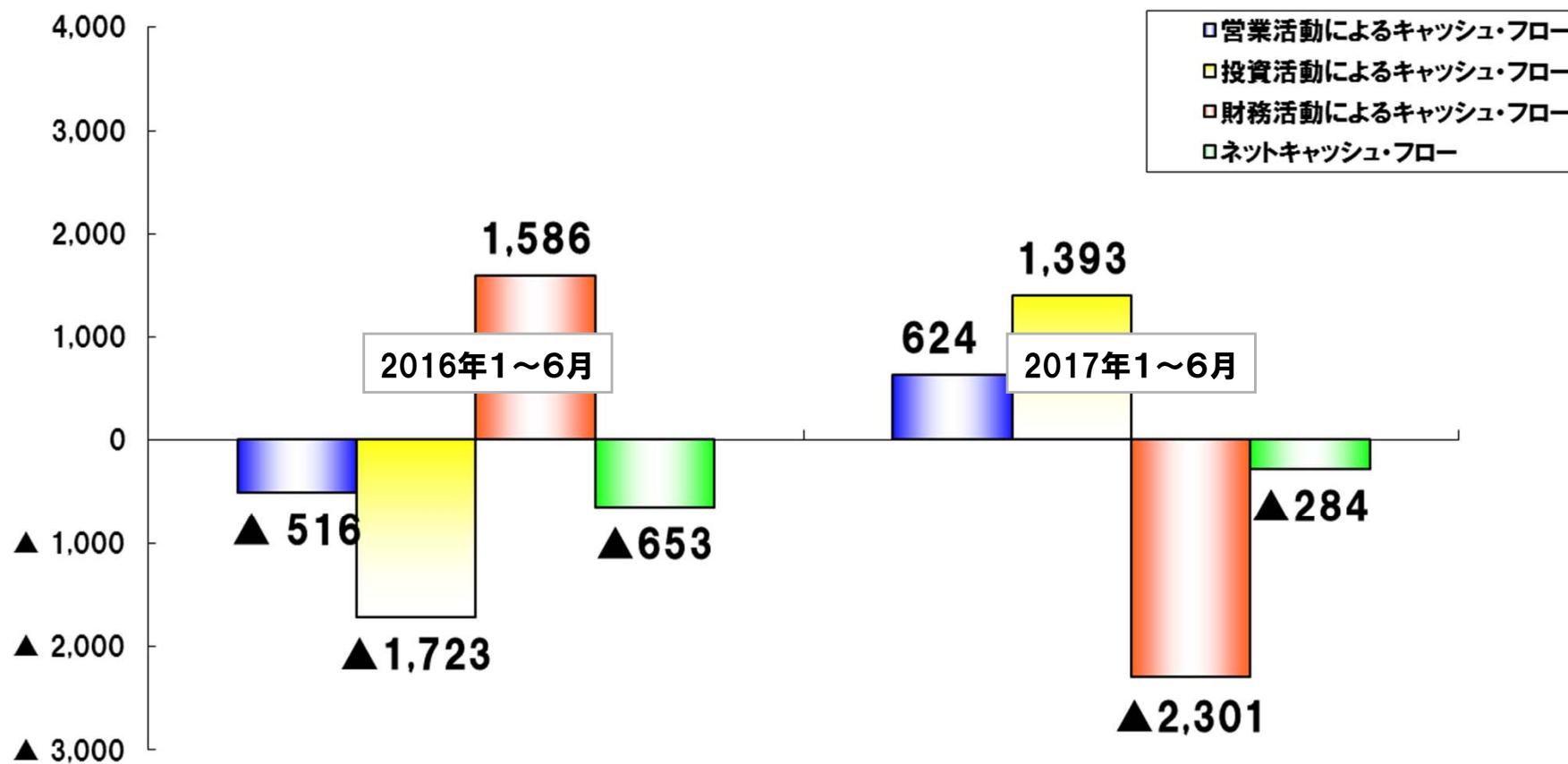
お米と。あなたと。

木徳神糧

証券コード：2700

単位：百万円

	前第2四半期 (2016年1月～6月)	当第2四半期 (2017年1月～6月)	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	▲516	624	1,140
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲1,723	1,393	3,116
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,586	▲2,301	▲3,887





KITOKU SHINRYO

お米と。あなたと。

 **木徳神糧**

証券コード：2700

経営戦略



1. 経営理念

2. 今後の経営方針及び戦略



経営理念

コメビジネスを軸に世界中の消費者に
コメとコメ関連食品の素晴らしさを発信し、
健康で楽しいライフスタイルの実現を
サポートします。

キーワード

変化へ迅速対応
存在意義の発揮



木徳神糧株式会社

米穀事業 (主力事業)

国内：生産者に近づく体制づくりの進化
販売における量の拡大と質の向上
生産体制の再構築

海外：コメビジネスのグローバル展開
国産米輸出の拡大と市場の開拓

飼料事業

- 販売数量の拡大
- 用途転用の促進

鶏卵事業

- 加工品の販売強化
- 独自商品の開発

食品事業

- 付加価値商品の拡大と海外展開

◇生産者に近づく体制作りの進化

■ 仕入体制の進化

農業競争力強化プログラムやJA全農改革に協力

取引先への安定供給とコストダウンの実現

複数年（長期を含む）・収穫前等の事前契約や期別相対・個別取引等の活用

産地・生産者のニーズにも応えられる仕入の深化

主食用、加工用、米粉用、輸出用、飼料用等供給の総合力を発揮

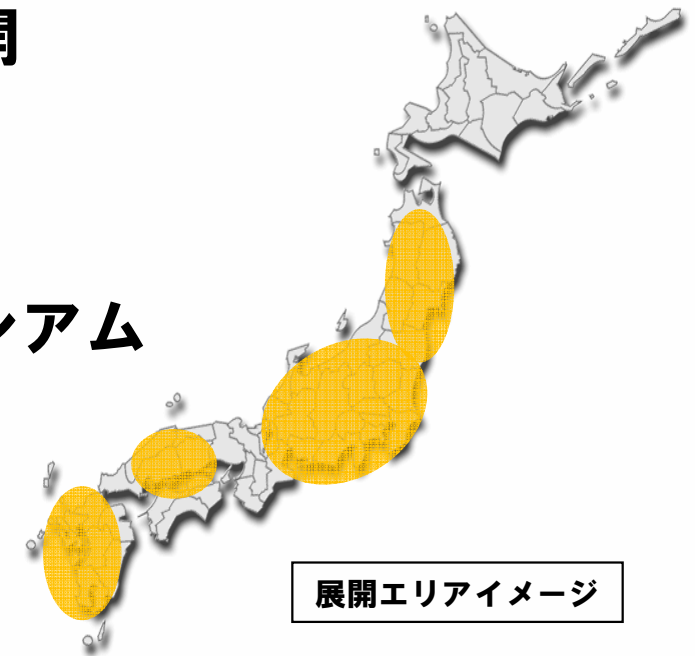
◇生産者に近づく体制作りの進化

■独自品種の生産と販売の拡大

平成30年以後に向けて農研機構との連携を加速し、
多収穫品種の契約栽培を全国の適地で展開

平成29年産あきだわら1,000トン計画
平成30年以降多品種で5,000トン目標

産学官連携事業「ゆうだい21」コンソーシアム
平成29年産栃木県内500トン計画



◇生産者に近づく体制作りの進化

■ ホクレン との連携進化

実需直結型の長期契約の取組み

安定生産・安定販路・安定供給につながる複数年（5年）契約

北海道産米の輸出拡大

「ゆめぴりか」をはじめ、道産米の中国等向け輸出の拡大

生産における連携強化

精米工場の相互利用の拡大



中国での店頭販売の様子



試食プロモーション

◇販売における量の拡大と質の向上

■「健康」「利便性」を軸に独自商品の展開

小容量（300グラムから2キロ）商品の開発を加速

7月「金のいぶき玄米（2キロ）」を発売、

9月「金のいぶきプラス（250g）」発売予定



金のいぶき玄米 2kg



（イメージ）

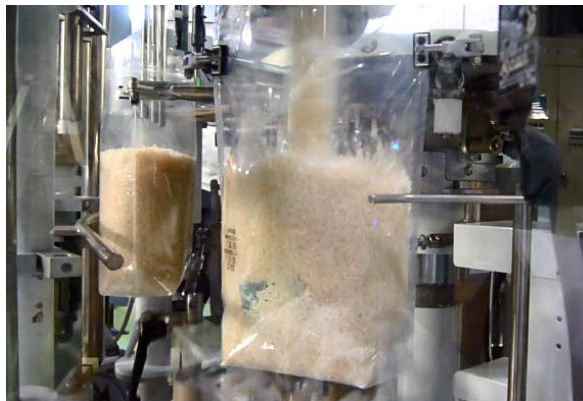
金のいぶきプラス 250g

金のいぶきプラスの特長

- ぷちぷち食感で冷めてもやわらか
- 押麦、大豆チップ、黒米をミックス
- 国産原料100%使用
- 炊飯器の白米モードで簡単に炊ける
- 手軽に試せる250gパック

◇生産体制の再構築

- 主力桶川工場に小容量商品生産ラインの導入
鮮度維持や長期保存が可能となる商品づくり
精米商品に賞味期限の導入、首都圏コンビニ向け販売中
さらに、自社ブランド商品の開発を加速
- HACCPやFSSC認証の取得
静岡工場HACCP認証取得
今秋桶川工場FSSC認証取得へ



桶川工場小容量ライン



長鮮度小容量商品



東海支店・静岡工場



◇コメビジネスのグローバル展開

■世界各国の美味しいコメを供給

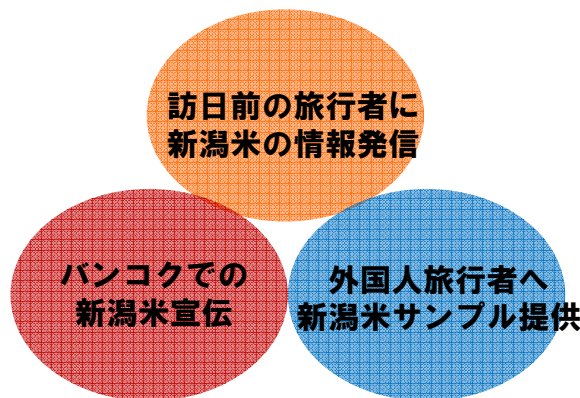
ジャポニカ米（国産・海外産）をはじめ各国のブランド米を拡販
低価格米のニーズに応じカルローズ取扱の拡大

■タイ関連コメビジネスの強化

タイフェックス2017に出展

新潟県「訪日タイ人向け新潟米PR事業」を受託

キトクタイランドとの協力により実施



新潟米PR事業の概要



タイフェックスへの出展



タイ料理の夕べ開催

左：平山社長、中央：バンサーン・ブンナーク大使、
右：ヤマモリ(株)三林社長



■ベトナム南部における生販体制の拡充

アンジメックス社との連携強化で栽培、集荷の拡大
日本式乾燥設備や低温倉庫等の設備を増強へ

■ベトナム北部ハノイにおける生販体制の確立

高品質ジャポニカ米の栽培の拡大
今春一期作240精米トン収穫（昨年実績75精米トン）



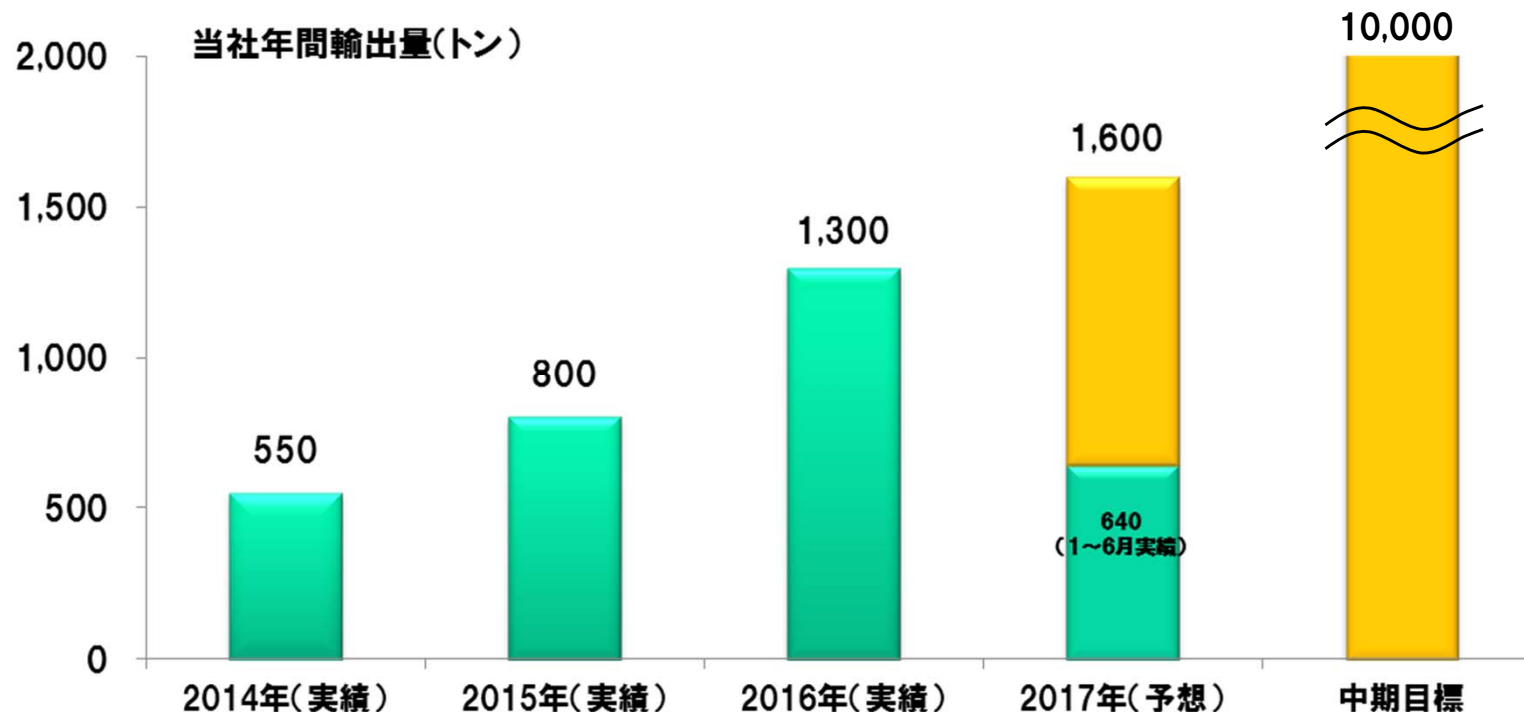
ベトナム北部の圃場



日本式乾燥機

◇国産米の輸出拡大と市場の開拓

- 安全・安心で高品質の国産米輸出の拡大に注力
 飼料用米シフト・国内価格上昇で原料調達難航
 JA・農業法人等と輸出向けの取組みを強化

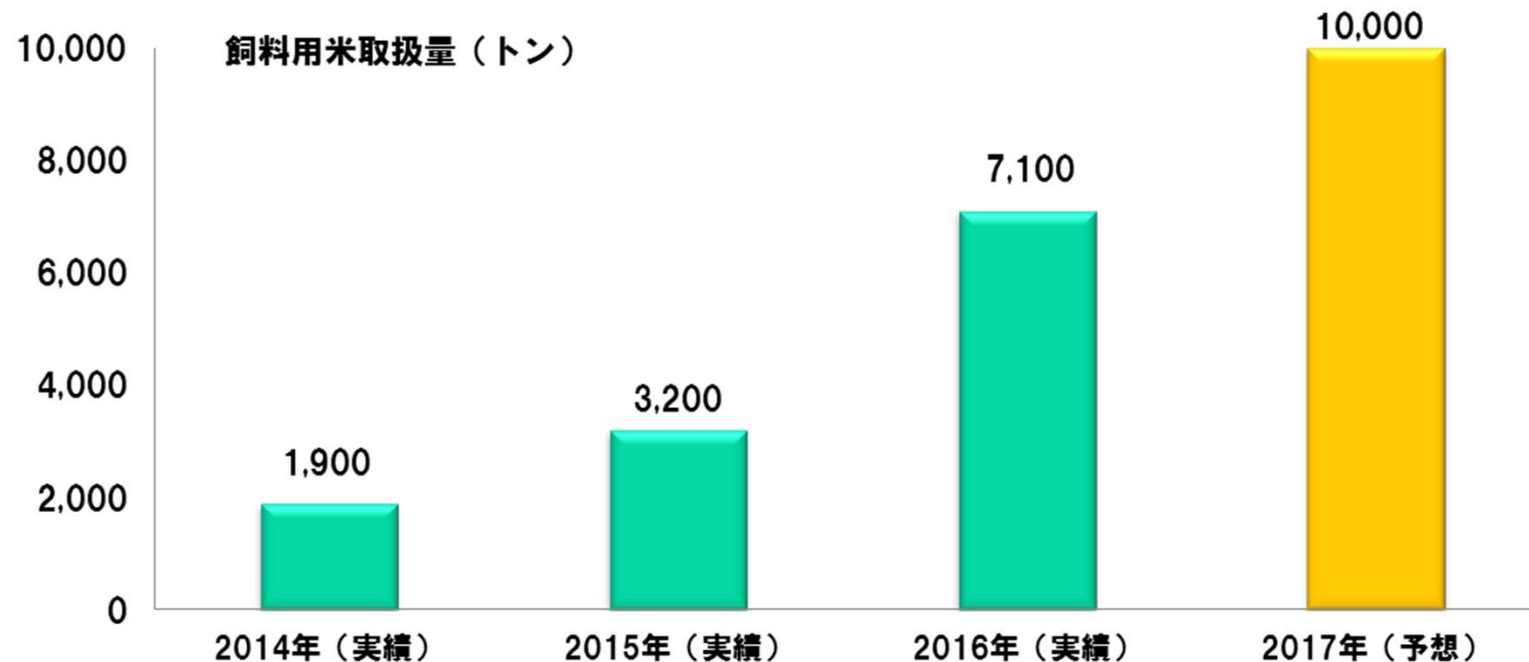




◇販売数量の拡大

- 北海道、中京、関西、九州における販売強化
- 水産飼料、キノコ培地原料の販売強化
- グループの海外拠点を活用し輸入飼料の取扱拡大

◇飼料用米販売の継続的拡大





◇付加価値商品の拡大と海外展開

- 純国産米油「こめしぼり」をリニューアル（8月）
- 本社ビルにテストキッチンを新設（10月）
販売と連携した商品開発を強化
コメ加工食品の開発機能を集約
- 台湾における「真粒米」の量産体制へ
台湾、中国向けの販売を開始（7月）



こめしぼり
(新パッケージ)





注意事項

お米と。あなたと。

 木徳神糧

証券コード：2700

本資料は、会社情報、経営計画、連結業績等に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。

また、本資料のうち、業績予想等に記載されている各数値は、現在入手可能な情報による判断および仮定に基づき算定しており、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化等による変動可能性に照らし、実際の業績等と異なる可能性があります。

本資料は、2017年8月10日現在のデータに基づき作成しております。

【お問い合わせ先】

木徳神糧株式会社 社長室

TEL：03-3233-5125 Email:ir@kitoku-shinryo.co.jp

URL <http://www.kitoku-shinryo.co.jp/>